

縄文文化の繁栄と衰退 IV

後晩期集落と地域社会の広域比較



分析対象地

集落と遺跡群

から

地域社会

を考える

研究発表 (10:00~15:10)

- 1 阿部芳郎「関東地方後晩期の遺跡群研究の現状と課題」
- 2 八木勝枝「東北地方の集落と遺跡群～北上市大橋遺跡とその周辺遺跡との関係～」
- 3 宮内慶介「関東地方西部の集落と遺跡群～飯能市加能里遺跡を中心とした入間台地の様相～」
- 4 中沢道彦「中部地方の集落と遺跡群～新潟県籠峰遺跡群と長野県石神遺跡群～」

昼休み

- 5 川添和暁「東海地方の集落と遺跡群～尾張・三河地域の低地・沿岸部を中心に～」
- 6 中村 豊「四国地方の集落と遺跡群～沖積平野に立地する後晩期集落の一考察～」
- 7 濱田竜彦「山陰地方の集落と遺跡群～鳥取市桂見遺跡とその周辺遺跡との関係～」
- 8 宮地聡一郎「九州地方の集落と遺跡群～中九州遺跡密集地域の様相～」

討論 (15:25~17:00)

期日：2017年11月19日(日曜日) 9:30 受付開始 10:00 開演 17:00 終了

場所：明治大学駿河台地区グローバルフロント1F グローバルホール

参加形態：先着120名(事前の予約受付はしません)・参加費無料・配布資料有り・一般の方の参加も歓迎します。

お問合せ先：明治大学資源利用史研究クラスター 03-3296-1873